



◎特綿配給

各府縣に於ては道路工夫等に支給する被服類の困難を感じる状況を慮り日本特免綿織物元配給株式会社と契約し關係府縣へ被服用綿配給の途を講じた。

◎醫學博士長與又郎氏

同氏は八月十六日朝肺臓癌で薨去せられた先是長き邊りでは同氏が多年醫學界に貢獻せる功績を思召され同十五日特に男爵を授けられた。實に博士は前東京帝國大學總長で帝國學士院會員でもあり特に癌研究の權威であつた。

◎内務省土木試験所談話會

第二百二十四回技術談話會話題

昭一六、七、二五 午後一、三〇—三、四〇

一、水流の渦亂現象と浮遊物質の擴散に就いて(印刷物配布)

(三〇分) 佐藤 技師

二、北支、滿洲を歩いて(二〇分)

横田 技師

三、石灰モルタルの強度に就いて(二〇分) 山田 技師
四、フリッピンを見て(一時間)

三菱礦業株式会社 福岡慶一氏

昭一六、八、八 午後一、三〇

一、粒子の水送(掃流運搬)(十五分)

佐藤 技師

二、文化映畫(約三十分)

三、潜水艦(日活提供)(一時間以上)

(東亞安定圈の護りたる皇國海軍の偉容とその活躍)

◎近刊圖書雜誌(寄贈交換)

○觀光(八月號)

○都市公論(第二四卷七、八號)

○鐵道之研究(第二二卷七號)

○水利と土木(第一四卷七號)

○警察協會雜誌(八月號)

○法律時報(第一三卷八號)

○清和(第八卷六、七號)

○都市問題(第三三卷二號)

○土木滿洲(第一卷第五號)

(原田千三氏)ノ聯自動車道路の橋臺)

○セメント界彙報(第四〇一號)

- 電氣通信學會雜誌(第二二〇號)
- 企畫(第四卷四號)
- 土木工業(第三卷七號)
- 大阪商工會議所月報(第四一〇號)
- 自警(七月號)
- 汎交通(七月號)
- 土木學會誌(第二七卷七號)

- (小野諒兄氏)北海道本州連絡に就て)
- 鐵道軌道經營資料(七月號)
- 東大陸(八月號)
- 港灣(第一九卷七、八號)
- 石油時報(七月號)
- 試驗調查事項(年報)

歐洲戰亂關係喪失船舶は郵船企畫部調査によれば本年六月末まで船名判明の分累計一千二百廿八隻、五百廿九萬三千百十總トンで、これが内譯は左の如くである(六月末までの船名判明の分、被拿捕、被抑留船舶を含まず)

國籍	隻數	總トン數	百分比
英國	五四三	一、六三五	四九・八
獨逸	九九	五六一	一〇・六
諾威	一四四	四四六	八・四
和蘭	五八	二五七	四・九
佛蘭西	四八	二四七	四・七
伊太利	四〇	二三五	四・五

希臘	五六	二二三	四・二
瑞典	九三	二〇九	三・九
丁抹	四九	九九	一・九
其他	九八	三七四	七・一

右の船名判明の喪失船に船名未詳の分を加算すれば一千萬總トンに達するものと推定されてゐる、なほ英國海軍省發表によれば英國、聯合國、中立國喪失船舶(六月末までの累計)七百一萬七千五百三十七總トン、獨伊側(六月十六日まで累計)二百七十八萬五千總トン總計九百八十八萬二千五百三十七總トンとなつてをり一方ドイツ軍司令部發表は(獨伊側喪失船舶を含まず、六月末までの累計)一千二百四十三萬三千總トンとなつてゐる。